

しゅうれんかい (修練会) からのメッセージ

公益財団法人豊島修練会 2016年12月15日号 (通算第16号)

子どもたちへ (小さなお子さんには読んであげてください)

がっこうはたのしいですか? ともだちとたのしくすごしていますか?

あなたのまわりには、いじめられている子がいませんか? もし、いじめられている子がいたら、がっこうのせんせいやおとなに、「あのこがいじめられています。たすけてあげてください」と、おしえてあげてください。

もちろん、あなたが、「いじめることはよくないよ。やめようね!」と、やさしくちゅういしてあげてもいいですよ。ちゅういすると、「なまいきをいうな!!」といて、あなたがいじめられることがあるかもしれません。そのときは、せんせいやおとな、いえのひとにすぐしらせましょう。だまっていると、あなたがずっといじめられることになるかもしれません。



大人の皆様へ (パパ&ママ、ジジ&ババ)



いじめが小学校でも、中学校でも、高等学校でも起きています。そして、いじめられている子は、心が傷つき、乱暴されて体が傷つき、悩み苦しんでいます。

いじめで大事なことは、まず第1に、自分の子供がいじめられていないか、いつも関心を持ち、観察をしてください。何か気になることがあったら、「優しく」そっと聞き出してください。そして、「いじめられている」ことが分かったら、学校の先生に相談してください。「我が子」のためですから解決するまで、いじめっ子の指導や対応をお願いしてください。学校で対応してくれないときは、教育相談所や教育委員会に相談することも方策のひとつです。黙っていたら、遠慮していたら、子供は守れません。

第2には、子供の様子を観察し、子供の話をよく聞き、子供の学校生活を話題にしながらか、「我が子がいじめをしていないか」確かめてください。我が子がいじめをしているのは、親としてショックなことです。家族全員で十分に話し合い、「いじめ」を絶対にしないようにすることが重要です。このまま、ほっておいたら、友達を集団で傷つけたり、金品を脅し取ったり、殺人を犯したりする結果を招くかもしれません。いじめは犯罪なのです。

学校の先生がたへ

最近、また、新聞やTVで「いじめ」と「いじめに対する学校の指導と対応」が、報じられています。記者会見の責任者のコメントは、「いじめとは認識していなかった」とか、「一応対応したので、解決したものだと思っていた」に、大体決まっているようです。そして、「今後このようなことが2度と起きないように改善します」と。

いじめであるかどうかの判断に基づいて指導・対応するのではなく、そのことがどうであるかを把握し、適切・迅速に指導・対応することが重要です。当該の子どもや保護者が相談するという事は、「緊迫している」状況であることを強く認識する必要があります。いじめの兆候、いじめの事実にもっと敏感になるべきです。(専門家の助言です)

★備考★[成美教育文化会館]で検索すると、「かけはし」のほか「メッセージ」「Q&A」「ほん本ブック」をはじめ「一字荘」「至楽荘」「成美教育文化会館の会場貸出」など様々な情報が閲覧できます。ご利用ください。



